

次期ごみ処理施設

ニューズレター

No2 2002.12

次期ごみ処理施設移転先を宇都宮大学と研究

《宇都宮大学との共同研究》次期候補地選定にあたり

《住民参加の資源化・減量化計画》次期ごみ処理施設に役立てる

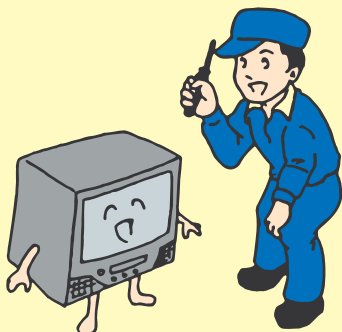
本報告書は最終報告書ではないが、ごみ処理問題に対する基本的な考え方を基に、自然的条件からの適地分析、ごみ処理施設の適地を選択するための分析、そして地域住民との合意を得るうえで必要なプログラム（道筋）の3部門から構成されています。

なお、本報告書は宇都宮大学研究者と塩谷広域圏1市4町及び組合の担当課長による共同研究の成果です。塩谷広域圏1市4町及び組合の担当課長は適地選択に必要なデータの分析・収集・提供を、宇都宮大学研究者は適地選択のデータの分析と報告書の作成を担当しました。

（研究総括責任者・宇都宮大学北島滋副学長）

ゼロ ごみ「0」をめざして、私たちにできること

- 家電製品など、直せるものは直して使しましょう。



（再利用）

- 資源ごみの分別収集に協力しましょう。



（再生利用）

- 食品は買い過ぎず、作り過ぎず、残さないようにしましょう。



（発生抑制）

《住民参加の資源化・減量化計画》次期ごみ処理施設に役立てる

ごみ処理検討委員会先進地調査



▲平成14年2月27日 ガラスびんの再生工場調査

「ごみ処理検討委員会」では、次期ごみ処理施設にも役立てていくため、下部組織（事業系ごみ対策部会、生ごみ対策部会、プラスチックごみ対策部会）を設置し削減可能なごみの資源化、減量化について検討しています。

なお、今月（12月）中間報告を提出する運びとなっております。

ごみ処理検討委員会から

ごみの資源化、減量化 できることから始めよう

●買い物の時は、買い物かごや袋を持参しましょう。

- ◆資源物のリサイクル
- ◆生ごみの水切り（自家処理や堆肥化の基本も水切りです。）
- ◆生ごみの発生抑制（作りすぎ、買いすぎ、食べ残し等）
- ◆買い物マイバックの持参（レジ袋削減）
- ◆ペットボトル、びん、缶の分別徹底



その他、資源化・減量化の手法は様々ありますが、循環型社会を構築するためには、住民の皆様のご協力が必要不可欠となってきます。

「ニュースレター」及び「ごみ処理問題」に対するご意見・ご提案等をお気軽にお寄せください。

問い合わせ先

〒329-1572 栃木県矢板市安沢3622番地1
塩谷広域行政組合 管理課 斎藤・阿美・印南・佐藤
TEL.0287-48-2760 FAX.0287-48-0463
E-mail:shioya-kanri@gamma.ocn.ne.jp

住民への便益向上に資する項目

エネルギーの再利用・都市施設（その他の還元施設）・教育上の活用・人口

地域の振興に資する項目

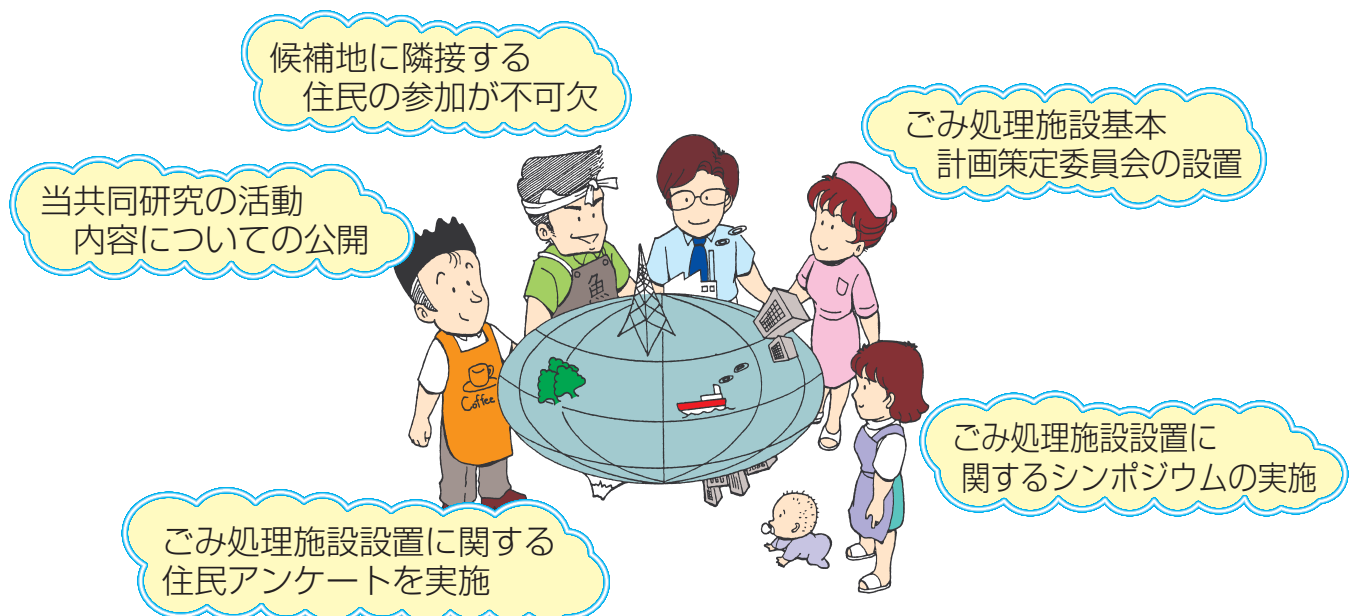
地元雇用・最終発生物の地域における活用の可能性・地域の産業、研究開発との連携可能性・地域資源活用の可能性・町の政策、計画及び既存プロジェクト等との関連性

以上の評価項目を設け、いつまでも「迷惑施設」などと言わずに、むしろポジティブな姿勢で「活用していく」という思考の転換を図り、新しい「地域融和型の社会基盤施設」として再認識される調査研究を実施しました。

住民との関わり方 住民参加

（宇都宮大学：中村祐司助教授）

この評価項目は、主にこれからの住民との関わり方について共同研究からの提案であり、大きく5つに分けられます。



「ごみ問題」 みんなで考えよう

《住民参加の資源化・減量化計画》次期ごみ処理施設に役立てる

ごみ処理検討委員会先進地調査



▲平成14年2月27日 ガラスびんの再生工場調査

「ごみ処理検討委員会」では、次期ごみ処理施設にも役立てていくため、下部組織（事業系ごみ対策部会、生ごみ対策部会、プラスチックごみ対策部会）を設置し削減可能なごみの資源化、減量化について検討しています。

なお、今月（12月）中間報告を提出する運びとなっております。

ごみ処理検討委員会から

ごみの資源化、減量化 できることから始めよう

- 買い物の時は、買い物かごや袋を持参しましょう。



- ◆ 資源物のリサイクル
- ◆ 生ごみの水切り（自家処理や堆肥化の基本も水切りです。）
- ◆ 生ごみの発生抑制（作りすぎ、買いすぎ、食べ残し等）
- ◆ 買い物マイバックの持参（レジ袋削減）
- ◆ ペットボトル、びん、缶の分別徹底

その他、資源化・減量化の手法は様々ありますが、循環型社会を構築するためには、住民の皆様のご協力が必要不可欠となってきます。

「ニュースレター」及び「ごみ処理問題」に対するご意見・ご提案等をお気軽にお寄せください。

問い合わせ先

〒329-1572 栃木県矢板市安沢3622番地1
塩谷広域行政組合 管理課 斎藤・阿美・印南・佐藤
TEL.0287-48-2760 FAX.0287-48-0463
E-mail:shioya-kanri@gamma.ocn.ne.jp